

8~9
月

まちかどトピックス



大きく実った復興米

9月12日、喜志町の田んぼで、岩手県大槌町で東日本大震災の津波の被害を受けながらも穂をつけた稲をルーツにもち、JA大阪南をはじめ地元の皆様のご協力を得て栽培している「奇跡の復興米」の稲刈りが実施されました。

今年は震災から10年の節目を迎え、あいにくの雨の中、喜志町子ども会の児童らが、大きく実った復興米を1株ずつ丁寧に収穫していました。

どんな模様になるのかな？

8月20日、21日、金剛公民館で、タイダイ染でオリジナルTシャツを作ろう！が実施されました。

タイダイ染とは、布生地を縛って染められた染め物のことで、生地を折ったり縛ったりすることで、さまざまな模様が生まれます。

参加者たちは、出来上がりの模様を想像しながら、用意した真っ白なTシャツに思い思いの色を染め付けていました。



水の生きものを探して石川を探検！

8月29日、石川で、石川の水の生きもの探検隊が開催されました。

これは、石川の水の生きものを観察したり、水の中に入って捕獲したりして、どんな生物がいるか確認してみようというもの。参加した親子らは、網を使って互いに協力しながら、石川の生きものたちを観察するとともに、さまざまな生きものがいる石川の魅力を再発見していました。

白熱！富田林について考える

9月4日、中央公民館で、とんだばやし白熱教室 Vol.2 が開講されました。

大阪大谷大学の学生や市民が集まり、「多文化共生」「少子化対策」「子育て支援」の3つの視点から、富田林の現状と課題について考え、より良い地域の作り方について議論を繰り広げました。

積極的な参加者らによるさまざまな意見が飛び交い、白熱した雰囲気となりました。

